

供給状況

No	製品名	GS1コード(販売単位)	統一商品コード	包装	日薬連通知に基づく表記		限定出荷等 解除見込み時期	更新情報
					出荷量の状況	製造販売業者の対応状況		
1	テグレート [®] 錠100mg	14987047211183	047211186	10錠×10	B. 出荷量減少	② 限定出荷(自社の事情) ③ 限定出荷(他社品の影響)	未定	-
2		14987047211190	047211193	500錠(バラ)			未定	-
3	テグレート [®] 錠200mg	14987047211206	047211209	10錠×10	C. 出荷量支障	② 限定出荷(自社の事情) ③ 限定出荷(他社品の影響)	未定	-
4		14987047211213	047211216	500錠(バラ)			未定	-
5	テグレート [®] 細粒50%	14987047211220	047211223	100g	B. 出荷量減少	② 限定出荷(自社の事情) ③ 限定出荷(他社品の影響)	未定	-
6	テルネリン [®] 顆粒0.2%	14987047211299	047211292	100g	A. 出荷量通常	② 限定出荷(自社の事情)	2022年10月	8月3日 : 出荷量の状況更新(A. 出荷量通常)
7	ラミシール [®] 錠125mg	14987047211381	047211384	10錠×10	A. 出荷量通常	① 通常出荷	2022年10月3日	10月3日 : 限定出荷解除日記載
8		14987047211398	047211391	10錠×30			2022年10月3日	10月3日 : 限定出荷解除日記載
9	リオレサール [®] 錠5mg	14987047211442	047211445	10錠×10	B. 出荷量減少	② 限定出荷(自社の事情)	未定	-
10		14987047211459	047211452	10錠×100	C. 出荷量支障		未定	4月15日 : 出荷一時停止より限定出荷へ変更
11		14987047211466	047211469	1000錠(バラ)	C. 出荷量支障		未定	5月23日 : 限定出荷品追加
12	リオレサール [®] 錠10mg	14987047211473	047211476	10錠×10	A. 出荷量通常	② 限定出荷(自社の事情)	未定	3月22日 : 限定出荷品追加
13	メタコリマイシン [®] 顆粒200万単位/g	14987047121857	047121850	100g	A. 出荷量通常	① 通常出荷	再開予定なし	6月7日 : 追加、在庫消尽後「出荷停止」、2022年10月を予定
14	オクトレオチド皮下注 50 μ g「SUN」	14987047211510	047211513	10バイアル	A. 出荷量通常	② 限定出荷(自社の事情)	未定	7月4日 : 追加
15	オクトレオチド皮下注 100 μ g「SUN」	14987047211527	047211520	10バイアル	A. 出荷量通常	② 限定出荷(自社の事情)	未定	7月4日 : 追加
16	ローコール [®] 錠20mg	14987047310176	047310179	14錠×50	C. 出荷量支障	② 限定出荷(自社の事情)	2022年10月	7月22日 : 追加
17	ローコール [®] 錠30mg	14987047310190	047310193	10錠×10	C. 出荷量支障	② 限定出荷(自社の事情)	2022年11月	8月29日 : 追加

出荷量及び対応状況の内容について:「医療用医薬品の供給状況に関する用語の定義と今後の情報提供について」(日薬連発第297号)
<https://ajhc.or.jp/siryo/f20220412nichi.pdf>

日薬連通知に基づく表示についての解説

出荷量の状況	解説
A. 出荷量通常	これまでの自社出荷量又は予定出荷量の概ね100%以上の出荷状況
B. 出荷量減少	これまでの自社出荷量又は予定出荷量の概ね80%以上100%未満の出荷状況
C. 出荷量支障	これまでの自社出荷量又は予定出荷量の概ね80%未満の出荷状況
D. 出荷停止	市場に出荷していない状況
製造販売業者の対応状況	解説
① 通常出荷	全ての受注に対応できている、又は十分な在庫量が確保できている状況
② 限定出荷(自社の事情)	自社の事情により、全ての受注に対応できない状況*
③ 限定出荷(他社品の影響)	他社品の影響等にて、全ての受注に対応できない状況
④ 限定出荷(その他)	その他の理由**にて、全ての受注に対応できない状況
*: 全ての受注に対応できない状況とは、新規顧客の注文や増量受注の事態など。	
**: その他の理由とは、季節性製剤や一過性需要過多、災害等による被害など。	